

●職員に求められる資質	できている	まあまあできている	できていない	わからない
①保育指針を十分に理解している	6	21	2	0
②保育指針の内容を日々の保育実践に活かしている	6	22	0	1
③向上心を持って取り組んでいる	15	13	0	1
④施設長・主任は、施設の課題を自覚し職員に対して指導や助言を行うなど、役割を果たしている。	25	4	0	0
⑤倫理観、人間性、保育施設職員として責任感を持ち、自覚を持って保育に従事している。	17	12	0	0
⑥子どもと関わることを喜び、子どもと一緒に喜ぶことができている。	27	2	0	0
⑦積極的に保育に従事している。	18	9	1	1
⑧乳幼児の発達過程を理解し、子ども一人ひとりの成長・発達に合わせ見通しを持った援助ができる。	8	17	1	3
⑨身近な自然や素材を活かし、様々な遊びが展開できるような保育を心がけている。	6	19	3	1
⑩職員間のコミュニケーションがとれている。	16	13	0	0
⑪職員間の共通理解と協働性を高めるよう心がけている。	13	14	0	2
⑫日頃の保育を定期的に振り替えるようにしている。	8	20	0	1
⑬保育の質の向上に努めている。	14	12	0	3
⑭職員会議、研修、他園との交流などを通して、自分の保育の課題や不足が「気づき」として見出せる。	8	17	3	1
⑮専門知識・技術について「気づき」の機会を多く持とうとしている。	8	13	3	5
●保育環境	できている	まあまあできている	できていない	わからない
①子どもの成長に合わせた玩具、遊具、絵本が子どもの手の届く場所に適切な量で用意されている。	14	15	0	0
②子どもが自由に選び、主体的に遊びを展開できるように配慮されている。	17	12	0	0
③施設内の清掃が行き届いており、保育施設・トイレ等の清掃が保たれている。	22	7	0	0
④おもちゃなどの子どもたちが使用する備品類の消毒が行われている。	20	7	1	1
⑤子ども達が遊び込むことができる時間と空間への配慮をしている。	12	16	0	1
⑥自由な遊びコーナー等、子どもの自主性、自発性が尊重できるように配慮している。	14	15	0	0
⑦子ども同士の関わりながら、あそびができるように工夫されている。	14	14	0	1
⑧手洗い場、机や椅子などは、子どもの身体に合った大きさと整えられている。	23	6	0	0

⑨友だちと好きなことをして落ち着いて遊べる場所や一人でじっくりと楽しむことができる場所を確保できている。	14	13	1	1
⑩子どもたちが心や体をゆっくり休め、くつろげる空間を確保できている。	10	18	0	1
⑪施設内外に関わらず、死角を作らないように配慮できている。	11	14	2	2
⑫身近な自然と関わることができる取組がされている。	24	5	0	0
⑬遊びを通し、自ら体を動かす環境ができています。	23	6	0	0
⑭外気に触れ、自然を感じ、自らが興味を持って探索できる環境ができています。	24	5	0	0
⑮子どもが安心して遊べる安全面に配慮された園庭等が確保されている。	25	4	0	0
⑯乳児の保育環境について、月齢や発達に配慮した乳児専用の空間が設けられている。	13	12	0	4
⑰乳児が安心して落ち着いた生活を送るための特別な配慮がされている。	12	12	0	5
⑱リズム・造形等の多様な表現活動を経験できる環境設定を工夫している。	9	16	3	1
⑲自ら興味を持って関わり、楽しめるような環境設定を工夫している。	14	15	0	0
⑳継続した活動ができるような環境設定がされている。	15	12	1	1
●保育内容	できている	まあまあできている	できていない	わからない
①職員は「子どもの最善の利益」を考慮し、全体的な計画の保育施設が目指している理念を理解している。	13	15	0	1
②職員は、全体的な計画を通して、展開したい子どもの育ちの道筋、子ども像を共有している。	11	16	0	2
③子どもの発達や地域の特性を捉えて、職員全体で年齢別の指導計画（年・期・月・週案）を立てている。	21	4	1	3
④計画に基づいた保育を実践し、定期的な評価・反省を行っている。	17	11	0	1
⑤評価・反省を行った後、次の計画に反映している。	15	13	0	1
⑥0・1・2歳児の個人別指導計画は、個々の子どもの家庭環境を踏まえた成長歴・心身の発達、活動の実態に即して作成されている。	17	3	0	9
⑦成長の記録・保育日誌等があり、子どもの成長や日々の活動を記録している。	24	3	0	2
⑧一人ひとりの子どもの発達状況、保育目標、保育の実態について話し合う会議を定期的かつ必要に応じて開催している。	13	11	0	5
⑨配慮を要する子どもの支援について、保育所全体で認識し、情報を共有している。	17	8	0	4
⑩配慮を必要とする子供の支援について、必要に応じて個別指導計画を立て、保育を実践している。	13	10	0	6
⑪配慮を要する子どもの支援について、家庭や専門機関と連携し、対応している。	16	9	0	4
⑫入園児に利用者の個人情報（入園前の子育て状況、発育状況等）や要望を把握し、定められた書式に記録している。	21	3	0	5

⑬保育園の自己評価や保育士の自己評価など、日頃の保育を定期的に振り替える機会を設けている。	18	9	0	2
⑭保育施設の保育内容や保育環境の向上・改善のため、職員からの提案を活かしている。	16	11	0	2
⑮保育施設は異年齢で構成される場所であり、異年齢の触れ合いや交流を意図的に持っている。	24	4	0	1
●保育内容(1)生活と遊びの中の教育	できている	まあまあできている	できていない	わからない
①子どもの好奇心、探究心、思考力が育つよう、子ども自ら興味を持って遊ぶことのできる保育を行っている。	20	9	0	0
②子ども一人ひとりの置かれている状況を把握し、ありのままの姿を理解し、受け入れている。	20	8	1	0
③子どもが安定感と信頼感をもって、自分らしさを発揮し、行動できるよう援助している。	18	11	0	0
④季節の行事、誕生会等、子どもが季節感や文化などを体感できる工夫をしている。	25	4	0	0
⑤保育施設での生活を楽しめる工夫をしている。	18	11	0	0
⑥積極的に散歩や園外保育を実施し、周囲の自然環境に親しみが持てる取組をしている。	26	3	0	0
⑦地域との交流を図るなど社会と関わるができる取組がされている。	18	10	0	1
⑧乳児保育を行うにあたって、一人ひとり抱いて、目を見て微笑みかけ授乳したりしている。	19	3	0	7
⑨乳児保育を行うにあたって、ゆったりと話しかけながらオムツ交換している。	16	10	0	3
⑩乳児保育には、友だちの存在を認め、一緒に遊ぶことを楽しむことができるよう、協同する活動を取り入れている。	18	8	0	3
⑪子ども一人ひとりの理解を深め、子どもの表現しようとする姿や話の内容を十分に受け止めるようにしている。	19	10	0	0
⑫適切な言葉で答えながら、わかりやすく話すようにしている。	11	18	0	0
⑬子どもが達成感をもって基本的な生活習慣を身に付けられるよう、子どもに分かりやすい方法で伝え、適切に援助している。	10	19	0	0
⑭文化施設などの周辺施設等と連携する等、子どもが地域社会の中で活動範囲を広げるための取組を行っている。	8	13	0	8
●保護者支援・地域子育て支援	できている	まあまあできている	できていない	わからない
①保護者懇談会や園だより、しおり等を通して、理念や保育方針や保育の目的など家庭に知らせている。	23	6	0	0
②クラスだよりや保健だより等を活用し、日々の保育の意図、子どもの園での様子、また職員の状況等を家庭に紹介している。	23	6	0	0
③登降時間の会話や連絡などの日々のコミュニケーションや行事等あらゆる機会を通じて保育の意図、子どもの状況などを保護者と綿密に連絡を取り合っている。	20	8	1	0
④苦情解決、利用者アンケートに取り組み、その結果を踏まえた保育の改善について保護者に伝えている。	19	7	0	3
⑤保護者の話に傾聴し、誠実に答える姿勢に努めている。	23	6	0	0
⑥保護者と職員、相互で子どもに関わる課題を共有し、保育実践や園運営に活かす工夫がある。	14	12	0	3

⑦保護者懇談会や行事などで保護者同士の話し合いの場や共同で取り組む活動を提供している。	11	12	1	5
⑧保護者の自主的な活動に協力するなど、保護者間の連携を支援している。	7	10	1	11
⑨地域における子育て支援の拠点となるために地域の家庭を対象とした育児講座の開催、子育てに関する講習会などの子育て支援事業に積極的に取り組んでいる。	16	8	0	5
⑩活動や行事に地域住民等に参加してもらうなど、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している。	22	6	0	1
⑪子どもの成長の連続性を保障するため子ども同士の交流や職員間の情報交換など小学校との連携を図っている。	20	6	1	2
⑫職員は、区や地域で行われているひとり親支援、障害児支援、養育困難家庭の支援、その他の専門的支援施策について理解し、必要とする家庭を支援につなぐ役割を果たせるように学んでいる。	12	9	0	8